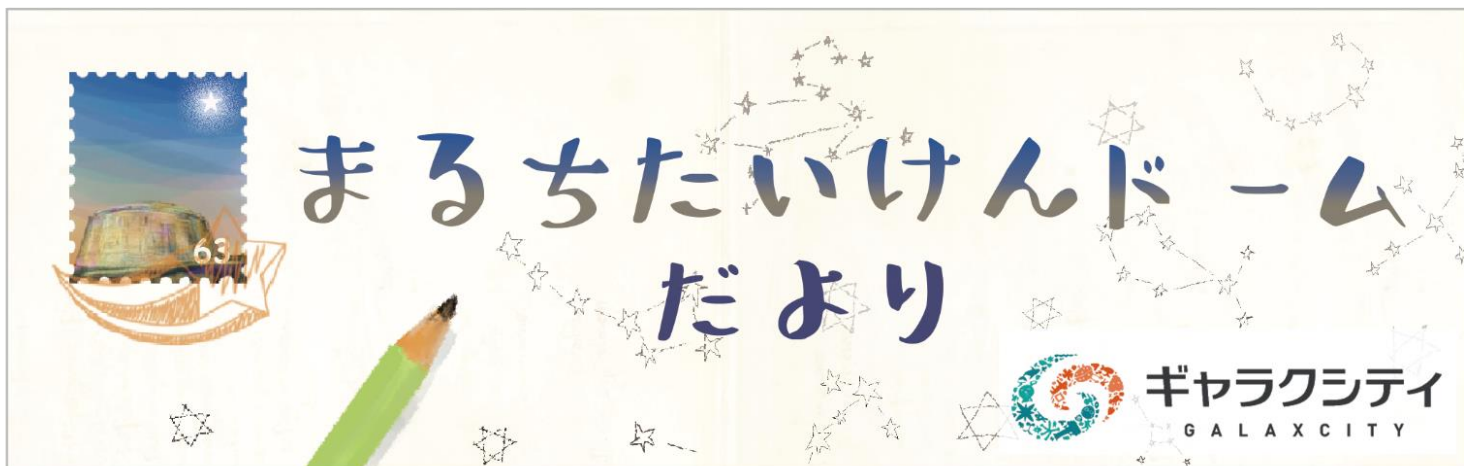




てんたいぼうえんきょう ほし み 天体望遠鏡で星を見る☆≡

さいきん てんたいぼうえんきょう ぼうえんきょう りやく さつえい
最近、天体望遠鏡（望遠鏡と略します）で撮影
した星の画像をテレビやインターネットをつうじて
みることが当たり前前の時代になりました。

いっぼう ちよくせつ てんたい お かんさつ
一方、望遠鏡を直接、星や天体に向けて観察する
てんたいかんぼう にんき
天体観望にも人気があります。



じっさいに月を望遠鏡で眺めると、ちきゅうたいき ゆ かん ちけい
間近に見て詳細を観察することができ、その臨場感が本物を見ている実感を与
てくれます。月の表面にはクレータや山脈、海と呼ばれる地形などが見え、詳しく
観察することができます。

もくせい どせい ほんたい しまもよう えいせい
木星や土星に望遠鏡を向けると本体の縞模様や衛星も見ることができます。

望遠鏡を通して木星とガリレオ衛星の様子を観察していると木星の表面に影を
お落としたり、衛星が木星の背後に隠されたりする神秘的な光景を体感することが
あります。また、惑星や恒星が月に隠される星食も見ることができます。



土星食

環を持つ土星が、だんだんと月に近づいていき、やがては月
の背後に隠されてしまう星食の臨場感をアニメーションで
はなく、本物を眼で見て味わうことができるのです。

星座をかたちづくる星々も、星の色がわかり、二重星や暗い
星も見ることができ、天の川が星の集団であることもわかり
ます。また、星雲や星団の姿も見ることができます。

うちゅう まど やくわり いだい
宇宙をのぞく窓として望遠鏡の役割は偉大といえます。